

人々が集まる明るい場所を取り戻そう！

高原城址再生プロジェクト

代表者 増山迅 (経済学部経済学科3年)

1. 目的と概要

【活動目的】

「再び人々が集まる明るい場所を取り戻す」

【活動概要】

高原城址再生プロジェクトは、地域住民との会話から生まれたもので、昨年度から始まりました。このプロジェクトの活動場所は、直島という瀬戸内海に浮かぶ小さな島にあります。私たち直島地域活性化プロジェクトは直島で和 cafe ぐうを経営しており、そのカフェの裏山に高原城址が位置しています。かつて、直島小学校の遠足や美しい景観で直島島民や観光客を魅了していた高原城址が、管理団体の高齢化によって荒廃していました。そこで、このプロジェクトでは、私たち学生の活動により、再び高原城址を人々が集まる賑わいのある場所へと再生することを目的としました。今年度の主な活動は景観整備と人々が集まる仕組み作りの2点でした。



展望スポット 高原城址



高原城址に続く整備前の階段

2. 実施期間（実施日）

令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクトでは、広場や階段の整備、階段沿いの竹の伐採、椿の剪定、花壇の設置、看板の設置、キットの配布、イベントの開催と7点の事業を予定していました。今年度中に達成、達成予定の事業としては広場や階段の整備、階段沿いの竹の伐採、椿の剪定、花壇の設置、看板の設置の5点です。これらの事業により景観が良くなったことで、広場に足を運ぶ人、写真を撮る人の姿を多く目にするようになりました。また、未達成の事業としてはキットの配布、イベントの開催の2点です。

【広場や階段の整備】 【椿の剪定】

このプロジェクトの発足前は、直島町民のみなさんが整備を行っていました。しかし、管理団体の高齢化に伴い、整備が行き届かなくなっていました。そこで、私たち学生が直島老人会と協力し、月に2～3回程度、広場での草抜き、階段清掃を行いました。また、広場にある椿の剪定も行いました。さらに、今年度は私たちが経営する和 cafe ぐうの開店前にもこのような活動を行う等し、頻度を増やしました。その結果、以前のようなうっそうとした雰囲気はなくなり、広場全体は過ごしやすく、階段は通りやすくなりました。



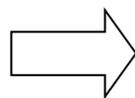
階段整備の様子



椿剪定の様子



整備前の階段の様子



整備後の階段の様子

【竹の伐採】

かつての高原城址は、階段の上から瀬戸内海の景色を一望できていました。しかし、活動開始当初は、階段沿いに竹が生え、瀬戸内海の景色を眺めることができなくなっていました。そこで、毎月数回に分け、背が高い竹から少しずつ伐採したことによって、上から景色を眺めることができるようになりました。



竹伐採前の様子



竹伐採後の様子

【花壇の設置】

新たに購入したレンガを用いて、花壇を設置しました。今年度の活動開始当初は、島民とともに設置、花の植栽を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、学生だけで設置することになりました。また、現在花壇にはチューリップとパンジーを植栽しています。今後も引き続き、直島地域活性化プロジェクトのメンバーで花壇の手入れを行う予定です。

【看板の設置】

昨年度行ったアンケート調査から、高原城址の認知度の低さが課題としてあげられていました。よって、私たちが経営する和 cafe ぐうの看板横に高原城址の看板を設置することで認知度を高めようと考えました。

当初、地面に固定したものを作製する予定でしたが、技術的・法律的に難しいことが判明し、地面に固定する看板は断念しました。

その代わりに、私たちが経営する和 cafe ぐうの営業時にのみ設置する移動式の看板に付随して作製することになりました。直島へ観光客が多く訪れるのは、和 cafe ぐうが営業をしている土日祝日です。よって、営業日のみの設置でも十分に高原城址認知度向上につながると推察しました。

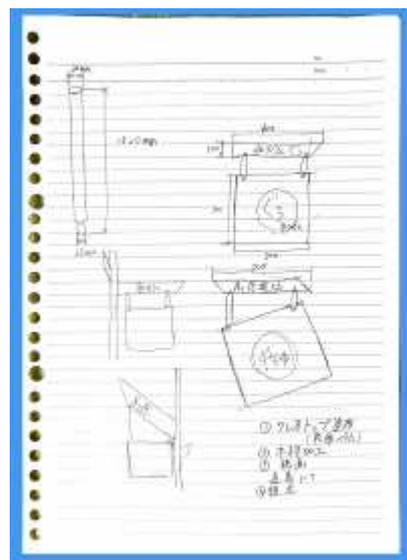
看板は、ストリートサインのように軸となる棒に枝分かれするように横長い看板をつけ、行き先とその名称がひと目でわかるようになっています。名称の下には行き先のイメージがしやすいようにイラストを描いた板をぶら下げます。

高原城址への階段の入り口付近に設置するのですが、和 cafe ぐうの真横に階段があることも踏まえ、高原城址とぐうの2つを示す看板を作ることで和 cafe ぐうの集客にも利用しようと考えています。

蔓延防止等重点措置が香川県に適用され、活動が制限されているため2月中旬に予定していた作製には取り掛かれていませんが、3月中の設置を目指しています。



花壇設置後の様子



看板の設計図

【イベントの開催】 【キットの配布】

イベントの内容としては、3月下旬に直島小学校の生徒を対象に高原城址で採取した材料を用いて、灯籠とキャンドルを製作する予定でした。目的は伐採した竹の再利用と昨年度の活動で余ったキャンドルの再利用、高原城址に来てもらう機会をつくることです。しかし、活動制限により中止となりました。

キットの配布が未達成となった理由は、新型コロナウイルスの影響で対面でのイベント開催ができない可能性があるにもかかわらず、非接触での実施に臨機応変に対応することができなかつたからです。今年度の企画を来年度に生かしていければと考えています。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクトを実施したことにより、直島屈指の展望スポットであり、島民の思い出の場所である高原城址の景観を取り戻すことができました。その際、高原城址を管理している直島老人会のみなさんや直島町役場のみなさんと何度も相談や報告を行い、アドバイスを頂きました。島民のみなさんの多大なご協力もあり、うっそうとした暗い雰囲気だった高原城址に明るさが取り戻され、直島の地域活性化に貢献できたと思います。島民のみなさんも私たちの活動を知り、活動の様子を見に来てくださったり、肥料を頂いたりと応援してくださっています。それは、私たちにとって励みになるだけでなく、島民のみなさんにも生きがいや活力を与えることができていると考えます。

また、SNS 投稿やプレスリリースの広報活動により、高原城址や私たちの活動の知名度の向上が図れたと思います。直島で活動した際にその様子を SNS に投稿したことで、島民の方だけでなく、島外の方にも知ってもらうことができました。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

このプロジェクトを通して、計画性、コミュニケーション能力等、様々な能力を培うことができました。あらかじめ一年間の計画を立て、実行するというのは想像以上に難しく、計画通り進まないことが多くありました。しかし、その度にメンバーで話し合い、試行錯誤と優先順位の決定を行うことでプロジェクトを遂行することができました。また、観光客や島民と交流する機会を通して、多くのメンバーがコミュニケーション能力を培いました。さらに事業や交流を通じて、地域の一員としての自覚が芽生えたメンバーも多くいます。今回のプロジェクトで培った経験を今後のプロジェクト活動に生かし、より地域に貢献できる活動を行っていきたいと考えています。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今年度の活動における反省は、情報共有に偏りがあったこと、予算計画が不十分であったこと、活動制限がかかることを予測して動くことができなかったことの3点です。来年度はこれらを改善するため、予算・企画の立ち上げ段階から全体で話し合い、情報共有を徹底すること、活動制限を予測し早目の取り掛かりを心掛けること、イベントを年度中旬に開催することを視野に入れることの3点を徹底したいと考えています。

また、良かったこととしては、第一の目標としていた景観整備を達成することができたこと、看板整備等の人が集まる仕組み作りにも着手できたことの2点です。

そして、来年度の活動では、景観整備の継続はもちろん、今年度行えなかったイベントを開催し、より多くの人に高原城址を知ってもらえるよう努力していきたいと思います。

コロナ禍により直島への観光客が減少しているため、今年度は島民のみなさんが集まる高原城址となることを目指しました。高原城址は、直島の観光地のひとつである護王神社が近くにあり、観光客にも来てもらいやすい場所です。また、瀬戸内海が一望でき、直島の魅力を感じられるスポットでもあります。そのため、今後新型コロナウイルスが終息し、直島に観光客が戻った際には、更なる高原城址の知名度の向上、足を運んでもらえる工夫をしていきたいと考えています。

7. 実施メンバー

代表者	増山 迅	(経済学部3年)		
構成員	長尾 美玖	(法学部3年)	智葉 瑛海	(法学部3年)
	細川 稜太	(経済学部2年)	荒木 海斗	(経済学部2年)
	石川 敦也	(経済学部2年)	日浦 涼	(経済学部2年)
	吉川 紗樹	(経済学部2年)	田所 真吾	(経済学部1年)
	岡田 侍大	(経済学部1年)	増田 悠	(創造工学部1年)
	土井 久実	(経済学部2年)	渡辺 玲	(経済学部2年)
	西馬 あい	(経済学部1年)	井上 直緒	(法学部1年)
	坂田 未悠	(経済学部1年)	假谷 有実紗	(経済学部1年)
	日笠 綾音	(経済学部1年)	山田 晴可	(経済学部2年)
	楠 琉々華	(経済学部1年)		

8. 執行経費内訳書

配分予算額		165,638円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
交通費	30	1,190	35,700	
交通費	4	770	3,080	
広場整備用資材費	12		26,597	
花壇整備用資材費	13		36,433	
活動消耗品費	15		44,386	
送料	1		1,760	
合計			147,956	